

## 気象ビジネス推進コンソーシアム 第5回運営委員会議事概要

- ・日時 平成29年9月11日（月）13：00～15：00
- ・場所 気象庁5階 大会議室
- ・出席者 委員18名中、16名出席。（2名代理出席、2名欠席）

### ・議事概要

#### 1 気象ビジネス推進コンソーシアム 細則改正（案）

- 運営委員のご逝去や人事異動等、事由の如何によらず、運営委員会への出席者が任期中途中で変更になる場合は、今回改正する細則に基づき、運営委員会にて臨時に選任する、という整理とさせていただきたい。

#### 【決定事項】

- 改正を承認することとする。

#### 2 運営委員の変更

- 承認された細則の改正条項に基づき、アサヒ飲料の中田様、ウェザーニューズの遠山様、三井住友海上火災保険の大野様を運営委員に選任したいので承認いただきたい。

#### 【決定事項】

- アサヒ飲料中田様、ウェザーニューズ大木様、三井住友海上火災保険大野様の運営委員の選任を承認。

#### 3 新規気象ビジネス創出WGメンバーの変更

#### 【決定事項】

- （株）環境エネルギー研究所、（株）TRUEDATA、ソフトバンク（株）、三井住友海上火災保険（株）様のメンバー追加を承認。

#### 4 WXBC 後援の承認

- 経産省が協力している「IoT 推進ラボ」が、太陽光発電量の予測等について競う「第3回ビッグデータ分析コンテスト」を実施する予定であり、これにWXBCも後援の形で協力することとしたい。
- 東京電力が提供する全国3カ所のメガソーラー発電所の発電量データと気象データを用いて、発電量予測のアルゴリズム開発等を競うもの。既に経産省から気象庁へデータ提供の依頼があり、アメダスデータ、地上気象観測データ、天気予報データ

を提供している。気象庁は後援の依頼を受けているが、気象データ利活用をテーマとしたイベントであり、WXBC としても後援の形で協力することとしたいと考えている。

#### 【主な意見】

- コンテストの主催は IoT 推進ラボか。
- 先方の IoT 推進ラボと経済産業省が主催である。このことから、気象庁は後援の予定であり、WXBC も後援をしてはいかが、という提案である。
  
- 人材育成 WG の観点から、大変よい企画で、歓迎したい。
  
- WXBC の後援についてはこちらからお願いしたのか。
- そのとおり。宣伝効果を狙っている。
- 経費等の負担が必要なのではないか。後援の手続きは誰が行うのか。
- 後援については、経費は不要で、事務手続きも事務局で行うことから、WXBC に経費的・人的負担はない。
  
- WXBC としては、広報だけでなく、気象ビジネスのいいアイデアについての表彰等で何らかの関わりを持てればよいのではないか。
- 今回後援させていただくことを承認し、今後事務局と経済産業省で賞、審査委員等について柔軟に調整し、次回お知らせいただきたい。
- WXBC 賞を設けること、運営委員に審査員をお願いすること等を含めて検討し、ご相談させていただく。
  
- 10 月から開始だが、審査員の選定等時間的な余裕は問題ないか。
- 事務局から経済産業省に確認いただく。
- 審査員・賞等に関して、急ぎ運営委員にご相談が必要な場合は、メールも含めてお諮りする。

#### 【決定事項】

- 第 3 回ビッグデータ分析コンテストへの後援を承認する。

### 5 人材育成 WG 開催報告

#### 【報告概要】

- ・アンケート分析を行い、今後のセミナーに対策を反映し、ジョイントやコラボも含めてセミナーの内容を固めていきたい。

- ・ 気象情報の概要の説明、地方の特性に応じた事例紹介を行い、地方セミナーの参加者・聴講者による交流会を行う。特に交流会において、人材育成 WG のメンバーは各地方に出張し、参加者から様々な話を聞かせていただき、その地域の問題がどのようなものか、どういう事を志しているか、どんなお手伝いを行うのが有効か等、後につながっていくきっかけとしてヒアリングを行ってくる。結果はまとめて、新規気象ビジネス創出 WG や運営委全体にもフィードバック・シェアをしていく。
- ・ データ分析から開始する。皆で気象データの分析・利用に関して気付きを共有できる場としていきたい。今後シミュレーションを行って本番を迎える予定。気象予報士にもご協力いただき、マッチングの場にもしたい。

### 【主な意見】

- 第 3 回 WXBC セミナーに関して、講義資料は誰でも見ることができるか。
- WXBC のページに公開するので誰でも見られる。
- 来ようと思ったけど参加できなかった人、どのレベルの話か分からないので見送った人のニーズ、レベルにも合わせることも大事。  
セミナーは何かを始めるための取っかかりを求める等の参加者が多いはずで、セミナーを行うことで WXBC が自己満足にならないようにする必要がある。参加者のスペクトラムを広げられるような意識をして企画をした方がよい。
- スペクトラムは 2 つあり、” 参加したくても参加できなかった人 ” と ” もう少し難しく、エクセル以上のトレーニングをしたいような参加者 ” と理解したが、いかがか。
- いろいろな手段で拾い上げていく必要がある。セミナーの資料が取得できること等を皆で協力して広めていく、HP で目立つようにして取得しやすいようにすることが一つ考えられるが、地道な努力が必要と考える。  
気象のデータを実際に触ってみることが必要。気象データにはどんなものがどれだけあるのかを整理し、それにオープンデータをぶつけてみるのも非常に苦労した。そういった経験も踏まえて、やり方を検討したい。更に高度な分析ツールを用いる内容についても今後検討していきたい。
- 来ようと思ったけど参加できない人、地方で参加できない人のフォローについては、YOUTUBE のような動画公開等が有効ではないか。
- そのとおりと考える。具体化は今後検討する。
- 保険、天候デリバティブ関連等事例紹介では是非協力したい。
- 今後お声かけさせていただきたい。

- 告知はされているのか
- 会員向けにはメーリングリストで、HP は本日より行う。
  
- HP でセミナーのアーカイブなどを公開するのがよい。
- 10 月末より部外 HP で公開を開始できる見込み。広報に力を入れていきたい。
  
- 各セミナー終了直後の講演者への質問の列についての対策はどうするのか。
- 講演終了後に時間を設けるなど、対策について早急に検討する。
  
- 今後、WG に参加されている方のための、これまでの企画中心の活動を越えた活動を話し合っていていきたい。

## 6 新規気象ビジネス創出 WG 開催報告

- ・事例集については、まず WG で気象庁の事例集を提供してもらい、WG メンバーに事例の共有を行った。今後は会員からも事例の提供をいただく予定。
- ・WXBC のアイデア創出イベントを平成 30 年 1 月に実施するにあたり、WG メンバーでアイデアソン体験を行った。
- ・アイデア創出イベントについては、様々な類似イベントがあるため、位置づけ、狙い、ターゲットを絞って明確にしないと他のイベントに埋没してしまうので、WG でも検討しつつ、運営委員・WXBC 全体の意見を聞きながら進めていきたいので協力をお願いします。

### **【主な意見】**

- 利活用事例集の作成を進めているが、公開はどの時期を考えているか。
- これから追加事例の募集を行い、製本を総会までには仕上げたい。
  
- アイデアソン体験で出たアイデア集は会員に広く公開したい。
- アイデアについては、流用は問題ないか。
- 問題ない。

## 7 広報関係

- ・HP、メーリングリスト (ML) の部外サーバでの運用については、ようやく気象庁にて経費を確保できたため、ML は 10 月上旬から、HP は 10 月下旬から順次運用を開始できる見通しとなった。
- ・会長に WXBC トップページの家を作っていていただき、それを元に今後 HP のデザイン案を作成するので、準備ができたならご相談させていただきたい。

- ・現在 WXBC のページに WXBC のチラシを掲載しているが、10 月下旬からスタート予定の WXBC の地方セミナー等で活用するため、チラシを改訂したいと考えている。今後デザイン等のご相談をさせていただきたい。

#### 【主な意見】

- HP 等について、次回運営委員会に大枠を示していただきたい。広報関係は重要である。

### 8 気象庁の平成 30 年度概算要求について

- ・予算、組織、定員について概算要求中の内容について事務局から説明がなされた。

#### 【主な意見】

- 生産性向上の予算要求は、単年度要求か。
- そのとおり。ただし、後年度についても要求していきたいと考えている。
- モデルの構築とあるが、アウトプットは何か。
- 例えば、自動販売機での気象データとの関係を見出し、実験を行い、機会ロスの削減等を見出すことを目指す。
- 調査をして、知見を得るということか。
- さらに、自分の分野に限らず、それを広く公開するものである。
  
- WXBC で議論してきた実証実験との関係は如何に。
- （予算がとれた際には）小さなグループを作るなどの検討をし、実験する内容を検討していくことを考えている。気象庁との調整をしつつ、WXBC として活動していただく経費として考えている。
  
- HP については、4 月以降も継続して利用できるのか。
- 問題ない。

### 9 今後のスケジュールについて

- ・2ヶ月に1度程度の開催を想定しているが、H30.2.13 の WXBC 総会・フォーラムの企画等の承認をいただくため、必要に応じて12月上旬の開催も考えている。現在日程調整をさせていただいており、ご協力いただきたい。

### 10 その他

- ・大阪管区気象台が、ハルカス大学と YuMake（ユメイク）合同会社で打ち合わせを行い、ハルカス大学が主催する気象に関するセミナーに協力する方向で調整が進んで

いる。

- 気象がさまざまな産業に影響していることや、気象情報の価値と課題を理解することを目的とするもので、また、非営利のイベントなので、このようなイベントに WXBC の後援名義を与えてはどうかと考えている。
- メリットとしては、このようなイベントを WXBC の HP に掲載することで、WXBC が動いていることをアピールできると考えている。
- WXBC の後援名義を与える場合は、ハルカス大学主催のセミナーの内容が固まった段階で、メール等でご審議いただきたい。